



森 祐一（35歳）
2007年入社

入社13年目になります。これまでに護岸工事、橋梁耐震補強、舗装修繕、橋梁下部工事、地盤改良工事など様々な工事に携わってきました。

<工事概要>

工事場所：三重県桑名市和泉 国道1号町屋橋(P1橋脚)

○橋脚巻立て工(薄肉モルタル巻立て 126m²)

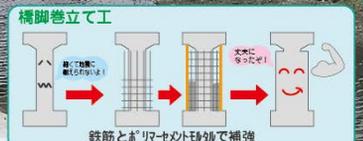
○土留・仮締切工(鋼矢板Ⅲ型 14.0m)

地震に強い橋をつくります「防災・減災、国土強靱化対策」

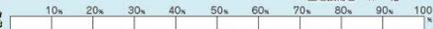
令和元年度 1号町屋橋耐震補強工事 工期：令和元年7月31日～令和2年3月25日



| 発注者 | 施工者 |
|--|--|
| 国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所 四日市国道維持出張所 TEL.059-345-2516 | 日本土建株式会社 本社 TEL.059-229-5656 現場事務所 TEL.0594-41-2676 現場代理人 水本 勝也 監理技術者 森 祐一 |



工事進捗率



・現場の紹介



『町屋橋』は三重県を流れる員弁川（町屋川）に架かる橋梁で、現在の東海道にあたります。歴史は古く、江戸時代に架けられたと言われています。これまで何度か架け替え・改修され現在に至り、主要な道路として役割を担っています。左の写真は、工事着手をするにあたり不発弾（爆弾）の探査を行っているところです。

・現場での役割

現場では監理技術者を務めており、現場の安全管理はもちろん、多岐にわたり現場の管理をしています。現場に従事する作業員の方や発注者の方とコミュニケーションを図りながら、無事に完成を迎えられるように現場を進めています。

・未来をつくる若手・女性技術者の皆様へ

この仕事は「大変」の一言に尽きますが、工事を終えた時に計り知れない達成感を味わうことができると思います。建設産業とは社会基盤整備の要であり、後世に「かたち」として受け継がれます。その「かたち」を誇らしく思える魅力を感じてみるのはいかがでしょうか。